

2023年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
選択ダンススキル9											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	CHALI			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
SMAP全国ツアーダンサーをはじめThe Monsters(香取 慎吾 & 山下 智久)、Super Junior、東方神起のツアーダンサー、バックダンサーとして活躍。Dream(E-girls)をはじめ数多くのミュージックビデオに出演。											
授業概要											
この科目ではオールドスクールの中でも最もポピュラーなLockのダンススキルをより専門的にマスターするレッスンを行います。リズムトレーニング、ステップなどの習得したうえでフリーで踊れるダンススキルを身に付けます。ストリートダンスの基礎力・表現力を付けたうえで、フリースタイルや振付を作ることも授業の中で行っていく予定です。											
到達目標											
この科目ではLockダンスの基礎力の強化とフリーでダンスを表現できる応用力を持ったダンサーの育成を目指します。振付だけでは無く音楽を感じる、グループを身に付ける能力も延ばします。そのためリズムトレーニングとステップ練習は毎回必須となりますので、毎授業の前に復習をすることで授業の理解度が高まります。											
授業方法											
ストレッチ、リズムトレーニング、ステップ練習をベースに毎回テーマに沿った振付を行いグループを養います。また授業内でソロダンス、フリーダンスの研究、実演を行いダンサーとしての応用力を養います。学生がお互いの振付やフリースタイルの発表を見る事で表現力や構成力の向上もはかります。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
レッスンで学んだスキルでその場で出来なかったものは必ず次回レッスン時まで練習してくる。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（アップリズム）										
第2回	ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（ロック、トゥエル、ポイント）										
第3回	ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（ペイシング、ギビングファイブ）										
第4回	ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（ダブルクラップ、スクーポップ）										
第5回	ステップを応用したコンビネーション（ドン・キャンベルロック・ウォーク、リオ・ウォーク）										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
選択ダンススキル 9	
第6回	ステップを応用したコンビネーション（ロッカーズステップ、スキーターラビット）
第7回	ステップを応用したコンビネーション（ストップアンドゴー、ウィッチ・アウェイ）
第8回	短い振付による表現と基礎
第9回	短い振付による表現と基礎確認
第10回	ステップやテクニックを取り入れたフリーダンス制作
第11回	ステップやテクニックを取り入れたフリーダンス制作・発表準備
第12回	ステップやテクニックを取り入れたフリーダンス発表
第13回	長い振付による表現学習（ステップ〜ウォーク）
第14回	長い振付による表現習得（ワンコーラス通した流れの中で振付を完成させる）
第15回	理解度確認・個人別実技発表